

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市立太田西小学校・太田東小学校再編成準備委員会 第2回通学部会
開 催 日 時	令和4年6月1日(水) 開会：午後6時30分・閉会：午後7時30分
開 催 場 所	太田公民館会議室
出 席 者 (委 員) 氏 名	清水高明部会長、中里正副部会長、佐久間彩委員、高橋美加委員、 稲葉準一委員、川嶋まなみ委員、坂本雅子委員
欠 席 者 (委 員) 氏 名	杉義浩委員
事 務 局	長島教育総務課長、新井主幹、増田、久積
会 議 内 容	(1)スクールバスの利用基準について (2)バスルート、及び停留所について
会 議 資 料	・次第 ・資料
そ の 他 必 要 項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開会
課長	2 あいさつ
事務局	3 議題
事務局	（1）スクールバスの利用基準について（再確認） （資料により説明）
部会長	前回決定した、この基準で進めることでよいか。
委員	（異議なし）
事務局	（2）バスルート、及び停留所について ①スクールバス停留所設置の基本方針 （資料により説明）
部会長	何か意見はあるか。
A委員	2 kmで区切ると藤間地区の児童は3人くらいしかいない。
部会長	藤間地区について、事務局の考えはどのようなか。
課長	事務局としては、現在の通学班により藤間地区は徒歩で通学することを提案したい。子供のつながりを大事にしたいと考えたところである。ただ、2 kmの線で区切るという議論もあると思う。太田西小、太田東小のそれぞれの地区のこともあるので地区で分けることを提案した。

A 委員	<p>確かに、太田西小の児童も遠距離である。</p> <p>他地区は、スクールバスを2校で併用していると聞いている。待ち時間など教員の負担が大きいと聞いた。</p>
課長	<p>太田小学校においては、スクールバス1台を2周させる予定である。これは、今後継続的な経費を考えてのことである。</p>
副部長	<p>藤間地区を徒歩にするとの案だが、保護者からスクールバスに乗せてほしいとの意見があった場合、乗せる乗せないという判断はどこがするのか。</p>
事務局	<p>この部会で決めることになる。2kmで区切るか。地区で区切るか。太田地区の皆さんで協議、決定いただきたいと考えている。今年度中に教育委員会で太田小スクールバスの運用についてを保護者へ配布するが、その後は学校に引き継いでいただきたい。</p>
部長	<p>この部会には、藤間地区の委員はいないが、現時点での意見や気づいた点を出してほしい。今日決定という訳ではない。藤間地区を一まとまりとし、徒歩とする提案についてどうか。</p>
A 委員	<p>藤間地区には、何人の児童がいるのか。</p>
部長	<p>8人いて、2km以内に位置するのは3人程度と思う。</p>
B 委員	<p>来年度は何人なのか。</p>
事務局	<p>藤間は8人になる予定である。</p>
課長	<p>太田西小の保護者の気持ちの兼ね合いを考慮していただけれ</p>

	<p>ばよいと考えたところである。</p>
C 委員	<p>太田西小は遠い児童がいるが、予算の関係で難しいと感じた。 ただ、現状、児童を送迎している保護者がいる。</p>
D 委員	<p>学校がなくなる地区が対象ということが基準であるということ である、そのような人をどうやって説得するかと考えてしまう。</p>
部会長	<p>藤間地区の件については、継続協議とする。</p>
事務局	<p>②ルートと停留所のイメージ (資料により説明)</p>
A 委員	<p>案 2 (停留所方式) とすると、現在の通学班を 2 人と 1 人に分 けることになる。</p>
E 委員	<p>地域文化センターも通学班の変更が必要かもしれないので、地 域で集まった時に確認してみる。</p>
課長	<p>通学班単位で停留所から乗車することを考えての提案である。 また、県道や見沼代用水を渡れるのかということも考慮した。</p>
C 委員	<p>案 2 とすると、停留所は道路上になり、危ない。見守りはどう するのか。</p>
課長	<p>立哨当番をお願いしたい。</p>
C 委員	<p>地域文化センターならその心配がないのかもしれない。</p>

課長	停留所をわけると保護者の見守りの負担も大きくなる。
B 委員	案 1（地域文化センターのみ）とし、時間を短縮することで、太田西小の遠い児童を乗せられないか。
課長	地域から学校がなくなる地域という主旨で、学校再編成により遠距離通学となる児童の通学の安全確保、また、概ね 2 k m 以上と規則に規定されている。
E 委員	真名板地区の保護者は勤めている人がほとんどで、下校時の見守りが難しいと思う。
部会長	下校は同じルートなのか。
課長	登校と同じにすること、また、下校は、地域文化センターだけということもできる。
部会長	人目もあるし、駐車場もあるという利点もある。
D 委員	何も知らない立場だと、案 1 だと見守り当番の調整がない部分は良い。
A 委員	どちらの案にしろ、関根地区は停留所まで送迎することになる。地域文化センターだと、太田東小に登校していたときと変わらなく遠い。
B 委員	地域文化センターだと、現在の通学と大差がなく、家を出る時間がかかり早くなる。

A 委員	6 時 5 0 分頃になるかもしれない。
B 委員	案 1 とした場合、遠い児童を考慮し、けやきホームを先にできないか。
事務局	2 周することから、近い部分を早便にしたい。
副部会長	登校便の到着時刻は。
事務局	1 便は 7 時 3 0 分、2 便は 7 時 4 5 分を目安にしている。
副部会長	普段は、学童利用の児童で、学童を利用しない日は、バスで下校できるのか。
事務局	連絡帳で連絡してもらうことで利用できる。
副部会長	短縮授業等で、一斉下校とした場合のスクールバスの運行はどうか。
課長	スクールバスを 2 回運行し、児童は学校で待機することになる。
副部会長	働き方改革という視点では登校時刻が早いかなと思う。せっかくの再編成なので、児童だけでなく、教職員にとっても太田小学校に勤務できて良かったというものになってほしい。
部会長	限られた予算の中で、他の再編校を参考に、児童、教職員にとって良い学校となるよう、通学部会で提案、準備委員会で承認していく形になればよいと思う。この場に全員いるわけではないので、今日の意見等を持ち帰り、保護者の意見を聞いていただき、

事務局	<p>次回協議することとしたい。意見があれば、学校、また直接、教育委員会にでもお願いしたい。</p> <p>4 連絡 (次第により説明)</p> <p>5 閉会</p>
-----	--